

静岡文化芸術大学

ひらめき☆ときめきサイエンス
～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
『日本建築と和釘のヒミツ！
和釘を作って、和釘を使う』



公立大学法人

静岡文化芸術大学

SUAC

令和3年12月9日
静岡文化芸術大学 企画室
【電話】(053) 457-6113

静岡文化芸術大学では、ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI『日本建築と和釘のヒミツ！ 和釘を作って、和釘を使う』を開催いたします。

この企画は大学で「科研費」(KAKENHI)により行われている最先端の研究成果に、小学5・6年生、中学生、高校生の皆さんが、直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうプログラムです。

当日は、本学新妻淳子准教授が代表者となって和釘についての講義と実技を行いますので、ぜひご取材いただきますようよろしくお願いします。

記

ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI
『日本建築と和釘のヒミツ！ 和釘を作って、和釘を使う』

- 1 日 時 令和3年12月12日(日) 10:00～16:00
- 2 場 所 静岡文化芸術大学 176大講義室および工房
(〒430-8533 浜松市中区中央2-1-1)
- 3 内 容 午前：新妻准教授と鍛冶師白鷹興光さんによる和釘作りについての講義。
午後：白鷹さんによる和釘づくり実演。
小中学生による和釘づくりと木材に打ち込む体験。
- 4 参 加 費 無料
- 5 対 象 小学5年生～中学3年生 8名参加予定(保護者同伴)
- 6 問合せ先 担当：静岡文化芸術大学 企画室(朝日、匂坂)
TEL: 053-457-6113
E-mail: kikaku@suac.ac.jp

※科学研究費(科研費)は、ピアレビューによる審査を経て、独創的・先駆的な研究に助成する「競争的研究費」です。本プログラムは文部科学省から助成を受けました。

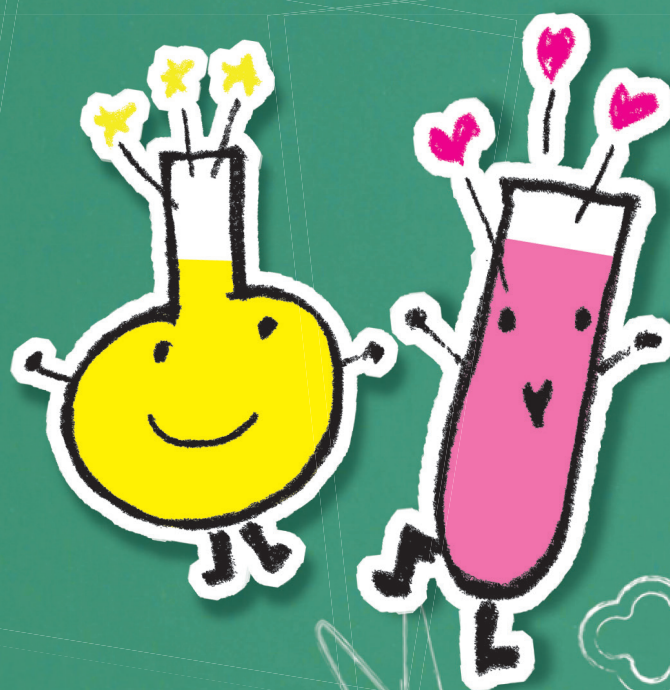
ひらめき発見、 ときめき体験。

令和3(2021)年度

科研費の成果を体験する
小中学生・向けプログラム

日本建築と和釘 のヒミツ！

和釘を作って、
和釘を使う



日時 令和3年12月12日(日)
場所 静岡文化芸術大学

お問い合わせ 静岡文化芸術大学 企画室
kikaku@suac.ac.jp/053-457-6113
※お申込方法は裏面をご参照ください

お問い合わせ「ひらめき☆ときめきサイエンス」事務局
TEL: 03-3263-1699 E-mail: hirameki@jsps.go.jp

Q ひら☆とき

検索

<https://www.jsps.go.jp/hirameki/>



JSPS

JAPAN SOCIETY FOR THE PROMOTION OF SCIENCE

日本学術振興会



～ようこそ大学の研究室へ～

KAKENHI

『日本建築と和釘のヒミツ！ 和釘を作って、和釘を使う』

日 時：令和3年12月12日(日) 1日間

場 所：静岡文化芸術大学（静岡県浜松市中区中央2-1-1）

受講対象者：小学5・6年生、中学1～3年生（保護者1名同伴）

募集人数：5名（先着順）

持ち物：筆記用具、弁当、軍手（綿100%で手に合ったもの）

服 装：作業可能な長袖・長ズボン（綿100%、エプロンもあると良い）、運動靴

※火花が散る可能性があるため、穴が空いても良いもの

日本の建築は釘一本使わない木組みが素晴らしいと言われますが、全く釘を使っていないわけではなく、飛鳥時代から釘は使われてきました。日本の釘は、四角い断面をしていて「和釘」と呼ばれています。鍛冶屋さんが真っ赤に焼けた鉄を金づちでたたいて和釘を作り、それを大工さんが建築に使います。

研究を進めている静岡浅間神社の建築にも釘が使われていて、神社を建てた時の古文書を調べていると釘に関する記述もみられます。講義の中で古文書から「釘」という文字を発見してみましょう！

和釘の歴史や建築についても学び、和釘を実際に製作している鍛冶の白鷹興光さんに疑問をぶつけてみませんか？

実習では、鍛冶白鷹さんによる和釘作りの実演を見学します。実際に和釘を作る鍛冶屋さん体験と和釘を木材に打つ大工さん体験までを行います。建築は多くの職人さんと多くの人々が協力して建てられます。それぞれに役割があって、一人でも欠けると良い建築はできません。

「日本建築と和釘のヒミツ」を職人さんと研究者と一緒に解き明かしましょう！

【午前の部】

時 間	内 容
9:30～10:00	受付（集合場所：南中央エントランス）
10:00～10:10	開講式（挨拶、科研費の説明）（南 176 大講義室）
10:10～10:50	講義①「日本建築と和釘」 講師：新妻淳子（南 176 大講義室）
11:00～11:40	講義②「和釘作りを語る」 講師：白鷹興光（鍛冶）（南 176 大講義室）
11:40～12:20	昼食（南 176 大講義室）

【午後の部】

時 間	実習① 和釘を作る 【体験】 講師：白鷹興光（鍛冶） （金属工房）	実習② 和釘を使う 【体験】 講師：月原光泰（大工） （構造実験室）	実習③ 和釘を知る 【実物見学】 講師：新妻淳子 （木材加工室）
12:30～13:00	実習の注意事項説明、「和釘を作る」実演 講師：白鷹興光		
13:00～13:40	A	B	C
13:50～14:30	C	A	B
14:40～15:20	B	C	A
15:30～16:00	ディスカッション、閉講式		

※実習は A・B・C の 3 グループに分かれて実習①②③を順番に実施する

【お申込方法】静岡文化芸術大学 企画室 kikaku@suac.ac.jp へ、①～⑨を記載しお申し込みください。

①氏名（カナ）②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤メールアドレス ⑥学校名 ⑦学年 ⑧性別 ⑨同伴者名

【実施代表者】静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 新妻淳子

※本プログラムは、JSPS 科研費 JP21HT0117 の助成を受けたものです